



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウストゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：ニノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成26年 4月号
No.264

京都の智恵を日本に活かす。
ニノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

集団的自衛権の行使容認で議論始まる 自民執行部全議員に理解を求める

一部に解釈変更^よに慎重な意見

集団的自衛権の解釈変更問題が漸く現実の政治問題に浮上してきた。かつてなら国会議事堂を二重、三重にデモ隊が取り囲み、解釈変更を絶対許すなというシユプレヒコールが響き渡り、緊張した雰囲気となる永田町。デモ隊の姿もなく、周辺は意外と穏やかで、国会の中で戦後最大の安全保障問題を議論している感じが少しもしない。よく言えば国民が成熟してきた証拠、悪く言えば平和ボケで無関心と言えなくもない。1960年の安保改定反対のデモ、ベトナム戦争反対運動を知っている世代から見れば、日本人の政治に対する無関心さが心配になる。ただかつての超大国アメリカの力の減退、中国の台頭、北朝鮮の脅威を考えると、平和憲法さえあれば、日本は安全だ、平和だと言っておれないのも現実である。国民、マスコミから大きな反対の声が挙がるのを百も承知で、日本でタブー視されてきた集団的自衛権問題に真正面から挑む安倍首相を評価する声も多い。自民党は総裁直属機関である「安全保障法制整備推進本部」を設置し、全議員対象に集団的自衛権の理解を深めるために、3月31日から議論を始めた。



第2回の講師を務める石破幹事長



初会合での高村副総裁

恒心

★3月末、湯浅劔子女史(千里文化財団顧問)が亡くなった。湯浅さんを知る人はそれほど多くないが、湯浅さんは日本におけるキャリア女性の草分けであった。日本人女性として珍しく、長身で、しかも

美貌、まばゆいばかりの存在であった。晩年にはソロプチミスト日本財団の理事長も務められた。★同志社大学を卒業、発足間もない京都市観光協会に就職、その後アメリカに渡り、現地雑誌の記者を務めた。昭和40年の初め、日本で最初の国際会議場が京都市左京区の宝が池に建設された。湯浅さんは初代館長の高山義三氏に起用され、開館の準備に敏腕を振るった。★私は開館後、会議場に奉職、湯浅さんの部下として厳しく指導され、鍛えられた。時には反発さえ覚えたほどであった。しかし、私の個性を尊重し、職場で自由に活動することを許してくれた。人生における恩人の一人である。★湯浅さんの世代は、たとえ能力があっても、女性の職場は限られ、随分と苦勞されたことと思う。能力が十分に生かされる機会がなく、当時の大卒の女性は悔しい思いをしたのではないか。それから数十年日本の社会は様変わりした。★女性の社会進出はめざましい。官であれ、民であれ、女性の活躍が目立つ。それでも女性が結婚し、出産して働き続けるのに、日本社会はまだまだ障害があると言われている。そのために若い女性の多くが、出産を機に、子育てのために退職し、職場に復帰しない人が多い。★国家として、高学歴で若い、能力のある女性を眠らせておくのは大きな損失である。そこで安倍首相は、第3の矢である成長戦略の中に、女性が積極的に行動し、活躍出来る政策を確実に実行することを表明した。子育てと女性の能力の活用が両立出来る職場環境をぜひ作って貰いたい。

参議院自民党議員年金に関するプロジェクトチームが発足

はため
傍目から見ても、一見派手で、経済的に豊かな感じの国会議員。中味は火の車で、自転車操業の人が多い。政治活動資金はもちろん、自らの生活資金も窮屈なのが現実の議員の姿である。しかも、平成18年4月、国会議員年金制度が廃止された。ペテランの年金受給資格のある議員はともかく、新しい議員は国民年金だけであり、落選したり、辞めたりしたら、前議員としての付き合いは出来ないうし、将来の生活設計すら立てられない。年金制度が廃止されてから、8年余りが経過した。民主党議員からも、年金制度を考えて欲しいとの打診が自民党にあったようである。自民党総務会でも年金制度を前向きに検討しようということになった。地方議員の年金制度も平成23年6月に廃止された。経済事情は地方議員も同様である。いやむしろ、地方議員の方が、深刻かもしれない。参議院自民党議員団では、国会、地方議員の年金問題を検討するためにプロジェクトチームを編成した。去る4月9日に第1回会合を開き、座長に二之湯智、事務局長に小泉昭男(神奈川選挙区)を選出した。今後1週間に一度のペースで開催、先ず地方議員年金制度について検討し、来年執行される統一地方選挙までには、新しい年金案をまとめる方針を決めた。2回目は全国市議会議長会、全国町村議会議長の共済担当者から意見を聞くことになっていく。1回目の会合で、各メンバーから出された意見は次の通りである。

●国民の政治参加を促すためにも何らかの補償は必要。

☆議員に優秀な人材を集めるためには、将来に対する補償をしっかりとやるべき。☆何らかの補償制度がなければ、政治参加は難しい。☆裕福な人だけでなく広く国民から政治に参入できる仕組みを作ることは大事。☆政治

家の活動はもっと厚くサポートされるべき。普通のサラリーマンでも志があれば政治家になれるような制度は必要。

●議員年金を復活させ、国民から理解を得られるか。

☆いったん廃止したものを復活させるには大義がある。☆一度なくしたものを復活させるのは相当の理論武装が必要である。☆議員年金の復活は、国民の理解が得られるのか。☆国民から議員年金はお手盛りになるのではなにかと思われる。☆職に見合った年金、健康保険があつてしかるべきだが、国民から批判を浴びることがあつてはいけない。☆行財政改革で議員の待遇が悪くなり、良い人材が集まらなくなったとの思いがある半面、国民から理解が得られるかとの思いもある。バランスのとれた議論を行わなければならない。

●議員年金の復活を国民から受け入れられる土壌づくりが必要。

☆国民から議員活動が胡散臭く思われているイメージを払しょくしなければならぬ。☆議員は胡散臭い、お金に汚いというイメージがある。議員であることを社会から尊敬されるような仕事にしなければ、また大衆迎合をする人が生まれる。☆第2の河村たかしを生まないような状況を作ることが必要。☆国民から議員年金を受け入れられる土壌づくりが大事である。

●その他

☆特権的な制度を求めているのではない。何らかの保険制度に入れる方法はないのか。☆秘書は年金に加入しているが、雇用主である国会議員が無年金というのは矛盾している。☆アメリカは議員活動が手厚くサポートされている。年金だけの議論に絞るのではなく、議員活動のサポート全体を含めたほうが議論しやすい。☆県会で議員年金が廃止になったのは、国会の道連れとの思いが強い。県会は被害者との思いが強い。

日本食文化普及推進議連が発足

事務局長に

二之湯武史参議員

去る3月28日、参議院会館において、「日本食文化普及推進議員連盟」の設立総会が行われた。昨年、和食が世界文化遺産に登録されたことをきっかけに、以前から日本食文化の海外普及に尽力していた二之湯武史参議院議員(滋賀選挙区)らが中心になり議員連盟の設立に奔走。当初の想定を大きく超える112人の自民党国会議員が入会し、議員連盟が発足した。総会では、山東昭子会長をはじめとした役員、そして規約が承認された後、名誉会長に就任した安倍晋三首相が多忙にもかかわらず駆けつけ、海外でのエピソードなどを披露した。当議員連盟では、日本食文化の戦略的海外発信、農産物の輸出促進、海外日本食レストランの支援のあり方、日本食に関する人材育成・研究機関の設立、など多岐にわたる施策を議論することとしている。事務局長として運営に当たる二之湯武史参議員は、「日本食文化を、省庁横断的に振興する画期的な取り組みだ。スピード感をもって課題を精力的に議論し、日本食文化を普及する具体的政策を実現していきたい」と抱負を語った。



左端、二ノ湯智、隣は武史、山東会長、菊乃井・村田氏

二ノ湯議員、弾劾裁判所裁判員に就任

弾劾裁判所は、一般国民には全くなじみがない、どんな活動をしているのかもわからない。いや、議員の中にも、裁判所の内容を知っている人は少ない。日本国憲法第64条1項に、国会は、罷免の訴追を受けた裁判官を裁判するたため、両議院の議員で組織する弾劾裁判所を設けるとなっている。端的に言えば、裁判官を辞めさせるかどうかを裁判する裁判所である。裁判をするのは、国会議員から選ばれた14人(衆議院議員7人、参議院議員7人)の裁判員で構成

されている。裁判員は、衆参各議院において国会議員の中から選挙で選ばれる。二ノ湯智参議院議員は、10月18日の本会議で裁判員に選出された。なお、裁判員の任期は特に定めがない。



裁判官弾劾裁判所の法廷で記念写真を撮る裁判員

26年度NHK予算、やっと成立

野党、会長の辞任を要求

NHK予算案は国会の承認を得なければならぬ。昭和51、55年の2回、予算案が年度内に承認が得られなかったが、余程のことがない限り例年、年度内に国会の承認が得られる。ここ数年受信料収入も順調に伸びており、悪質な職員の不祥事もなく、国会承認の障害はないと思われていた。ところが思わぬ問題が前途に立ちはだかった。

1月25日の記者会見で榎井勝人NHK会長が話をした慰安婦問題などの内容。発言内容は公正、公平な放送を行うNHK



参院総務委員会で厳しい質問を受ける榎井NHK会長

Kの会長にふさわしくないというのが野党の言い分。そのために、榎井勝人会長は衆参の予算委員会、総務委員会に再三、参考人として呼ばれ厳しい追及を受けた。榎井会長はしぶといというか、のらりくらりと野党の質問をかわしていた。さてNHKの受信料は最近、集金人が各家庭を訪問して集金する方法から銀行口座からの引き落としに切り替わってきている。NHKは4月から消費税が5%から8%になることを前提に、銀行引き落としのシステムを8%に変えていた。もし予算の年度内成立が出来ない場合、受信者から3%余分に貰うことになり、3%分を返す手続きをすることになる。その作業は膨大になる。その上、年度内成立が出来なければ、NHKにとって約15億円の損失となる。そんな馬鹿げたことは誰も喜ばない。野党は榎井会長が辞任しない限り予算案に反対、最終的に与党自民、公明の賛成多数で参議院総務委員会でNHK予算案を採決した。

山田啓二氏、堂々と4選を果たす 全選挙区で共産候補に圧勝

4月6日投票された京都府知事選挙は、現職の山田啓二氏が、京都市の各行政区、府下市町村で満遍なく票を獲得し、共産党候補に26万票差をつけて、4期目の当選を果たした。今回の選挙は、山田氏と共産党候補者との2極対立の構図。京都で共産党がいかに強くとも、選挙前から山田氏の勝利は間違いなく、正直いって、府民、市民の知事選挙への関心は低かった。しかも、京都府の有権者の約55%を占める大票田の京都市は政令指定都市で、知事の権限が政令市に大幅に移譲されて、京都市域の問題について、知事の権限があまり及ばなくなっ



当選挨拶のため、上京した山田知事と

た。したがって市民にとって、身近な首長は市長であり、知事は縁遠い存在となっている。このことも今回、34.45%の低い投票率につながった原因の一つかも知れない。とはいえ、いまなお知事は京都府全体の均衡ある発展のためには、大きな役割、責任、権限がある。4選を果たした山田啓二氏に京都府全体の躍進のために、力を発揮してもらいたい。

「こやりの隆史後援会」入会のお願

7月執行の滋賀県知事選挙に挑戦の意思を固めた前経産官僚の「こやり隆史」氏は、現在県下各地を駆け回り、県民との対話に汗を流している。ふるさと滋賀のさらなる躍進をと頑張っている「こやり隆史」氏の支援の輪をさらに一層広げる為に、是非とも後援会にご入会下さいませようお願い申し上げます。



3 新人府議会議員抱負を語る

知事選挙と同時に執行された3選挙区で当選した議員から抱負が寄せられた。

池田岩太(北区)



この度、私「池田いわた」は、皆様のおかげを持ちまして京都府議会議員に当選させていただきました。急激な少子高齢化が進む中、この危機的現状を打開していくために待機児童の解消や、病後児保育など多様な取り組みを進め、安心して子育てができる社会の育成に努めて、出生減から出生増の社会へ、命の芽生え、命の育みを支えていきます。

藤山ゆきこ(宇治市、久世郡)



多くの方々のお力添えを賜り、心よりお礼を申し上げます。今回私は、文教常任委員会、防災・危機管理対策特別委員会の所属となりました。選挙中訴えてきた、持続可能なまちづくり、皆さまの安

心安全の生活の確保に直結する委員会だと思えます。ご恩返しのためにも、私が育った宇治・久御山からしっかりと頑張つて参ります。

そのさき弘道(城陽市)



京都府議会議員に初当選させていただきました。選挙戦では、「京都の活力は地域の挑戦から始まる」と地域の活性化を訴えました。インフラ整備や商工業振興等を通じ、アベノミクスの経済効果を地域で感じられるよう、選出区である城陽市、そして京都府の発展のため全力で頑張ります。どうかこれからもご指導をお願いします。

「新政経懇話会」入会のご案内

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

身辺雑記

一、理化学研究所の小保方研究員のSTAP細胞発見の報道に世間は驚いた。日本人女性初のノーベル賞かと思った。1か月ほどして、理研側は研究論文はねつ造であると発表、それに対し小保方さんは事実と反論、一体どちらが真実か。

一、行方不明となつてしまったマレーシア航空機。どこに墜落したのか。何の前触れもなく、突如姿を消すとは。各国から捜索隊が出動、やっとオーストラリア沖で、ブラックボックスらしき信号音を探知した。真相解明がなるか。

一、モンゴルの首都ウランバートルで、横田夫妻がめぐみさんの娘、つまり孫と面会した。横田夫妻の喜びはいかばかりか。当然めぐみさんの消息が話題になったであろう。夫妻は娘は生きていますという確信を持つて帰つて来たと思う。

一、以前から準備されていたかのような段取りの良さで、クリミアで素早い住民投票が実施された。そして、ロシアはその結果を待ち望んでいたかのように、すぐさまロシア編入を決定した。かつての東西冷戦が始まるのか。

一、大学時代の後半2年間、渋谷区のアパートにいた。民家を改造した木造二階建て。二階に4部屋あり、東大、法政、日大生と私。先日、日大生の連絡先がわかり、45年ぶりに電話で話をした。お互

いたちまち昔の学生時代に返つた。
一、歩くことは最も簡易な健康法。私は1日1万歩を目標にしている。ある日、伊吹議長に「私は毎日、1万歩以上歩いています」と言つたら、議長は「二ノ湯君、僕は2万歩以上歩いているよ」という答えが返つてきた。これには参つた。

「日本真生塾」 例会のお知らせ

第42回 4月28日(月) 18時～21時

第43回 5月26日(月) 18時～21時

場所：龍谷大学アバンティ響都ホール
(京都駅八条口前アバンティ9F)

テーマ：『凸型西洋文化の死角』

西洋文化の根本を見直し、グローバル化について考察します

＜お問い合わせは事務局へ＞(担当：奥井寛之)

日本真生塾事務局(二ノ湯事務所内) TEL: 075-351-2228 / FAX: 075-315-2310
詳しくはFacebook ページをご覧ください。 <https://www.facebook.com/nipponshinsei>

日本真生塾 塾長 岡本幸治

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>